

＼今年で10回目！ 屋上で稲作体験／

小学生が戸塚区役所の屋上水田で 稲刈りを行います！



戸塚小学校5年生（4クラス・161人）が、戸塚区役所8階の屋上水田（地上34m、約50㎡）で、JA横浜や舞岡町の農家等の協力を得て、お米づくりを行っています。

屋上水田でのお米づくりは、平成25年の区役所移転から始まり、今年で10回目になります。

6月に児童が一生懸命植えた苗に穂が実り、いよいよ稲刈りを行います。児童が鎌を使って刈り取りに挑戦し、収穫の秋を実感するとともに、農業への理解や地産地消への関心を深めていただきます。

1 稲刈りの概要

日時：令和5年9月28日（木）9：20～11：15頃

場所：戸塚区総合庁舎8階 屋上農園内の水田
（戸塚区戸塚町16-17、JR・市営地下鉄戸塚駅徒歩2分）

※天候等により、順延・中止の可能性があります。

※品種は「はるみ」です。

※稲刈り後は、屋上農園で天日干しを行い、11月に収穫したお米の脱穀・精米を行う予定です。その後、児童たちが新米を味わいます。



<昨年の稲刈りの様子>

2 6月の田植えの様子

「初めての田植え、緊張する」、「田んぼの中でちゃんと歩けるかな？」と、児童たちはそれぞれのワクワクドキドキを胸に、水田の土の感触を楽しみながら、約600株の苗を植え付けました。



<田植えの様子>



<田植え後の田んぼ>

3 取組の効果

児童たちが、自ら田植え、稲刈り等を行った新米を味わう体験を通して、農業への理解や地産地消に関する関心を深めます。また、JA横浜、舞岡町の農家、児童の保護者、屋上農園内の畑で活動する市民ボランティア等の皆さんの協力を得て行われており、地域の人と人をつなぐ場にもなっています。

この取組を通じて、市街地の屋上水田が、食糧生産だけでなく、環境保全や地域のつながり作りにも貢献しています。

4 屋上農園について



屋上農園には水田のほか、畑、壁面果樹園などがあります。

畑や壁面果樹園では、市民ボランティアが管理活動を行っています。水田の日常管理は南部農政事務所が行っています。

面積等	
水田	約 50 m ²
畑	約 40 m ² (9区画)
壁面果樹園	プランター14基
芝	約 145 m ²

5 屋上水田の特徴

(1) 不耕起栽培

屋上水田は、荷重の関係から耕土の厚さが通常の水田よりも薄く、通常の水田のような耕うん(耕す作業)や代かき(植付前の水田に水を入れ、機械等で土をかくはんする作業)ができません。また、深く掘ると下層の防水シートを傷め漏水の恐れもあります。そこで、不耕起栽培という耕うんや代かきを行わない、もしくは最小限しか行わない方法で栽培します。

(2) 環境にやさしい屋上水田

屋上水田は、昆虫、水生生物など多様な生きもののすみかとなり、良好な生態系、生物多様性の保全の一助となっています。また、植物による被覆や蒸散作用により、温度上昇の抑制やヒートアイランド現象の緩和等にも貢献しています。



<取材について>

- ・稲刈り当日(9月28日(木))の撮影や小学生のインタビューなどを取材いただけます。
- ・取材いただける時間は、9時20分から10時15分頃までです。
- ・取材をご希望の場合は、9月27日(水)12時まで、「お問合せ先」までご連絡ください。



「横浜農場」について・・・

「横浜農場」は、食や農に関わる多様な人たち、農畜産物、農景観など、横浜らしい農業全体を農場として見立てた言葉です。横浜市では、この「横浜農場」を使い、横浜の農業のPRを進めています。

横浜で初めての万博となる2027年国際園芸博覧会の開催に向けて、横浜市では引き続き、農業の推進に取り組んでいきます。



お問合せ先

環境創造局農政部南部農政事務所長 澤田 悦子 Tel 045-866-8490